

補助事業評価シート

番号	58	章	施策33 魅力ある買物空間づくり
----	----	---	------------------

補助事業名	商店街にぎわい創出支援事業	所管部課	地域文化部産業振興課	事業開始年度	平成15年度
根拠法令(要綱)等	新宿区商店街にぎわい創出支援事業実施要綱				
19年度決算額 補助率	68,388,000 円 2/3	補助対象団体(者)	区内商店街等		
補助することで達成しようとしている区の目的	地域の特性を活かした、にぎわいと魅力ある商店街づくりを支援するためです。				
団体(者)に対する直接の助成目的	区内商店街の集客力強化及び活性化を図り、地域経済の発展に寄与することです。				
補助金の申請	補助金の交付申請にあたって提出する書類・添付書類 提出書類: 交付申請書 事業計画書 経費別明細書 添付書類: 見積書等 業者選定経過調書等 その他	審査の体制・考え方(区職員による審査又は公募委員を入れての審査、補助金の目的とする具体的な取組内容を記載した事業計画書を提出しているか・どのように審査しているか等) 申請書の事業内容(計画)が補助金交付の目的に適っているかどうかを審査します。	清算/実績報告にあたって提出する書類・添付書類 提出書類: 実績報告書 事業実績書 経費明細書 事業効果報告書 添付書類: 領収証 記録写真 ポスター・チラシ等 その他		
	審査の体制・考え方(清算/実績報告時の審査体制、助成の目的・決定内容に照らして、自己評価・活動成果の公表状況を踏まえ、予定していた目的・成果が達成できたか・どのように審査しているか等) 実績報告書の事業内容及び提出書類内容が、交付申請時の事業目的・計画に沿って実施されているか審査します。				
今後の課題	にぎわいや潤いのある商店街づくり、地域コミュニティづくりは、まちづくりという視点による区の支援が必要不可欠です。今後も、地域特性を活かした事業や消費者ニーズの変化を踏まえた取組みなどに継続して支援をしていく必要があります。				
補助金の評価	<p>総合評価(A・B・C・D)とその理由</p> <p>この補助金の総合評価はBです。 理由は、本事業を実施したほぼ全ての商店会から事業効果が高いと評価されている点と、6割以上の商店会から新たな来街者を獲得したとの回答もあり、区が支援することで、商店街の活性化につながるものと評価できるからです。</p> <p>区と補助対象者との役割分担</p> <p>この補助金は、商店会が集客力向上や地域との交流を深めるため、企画立案するとともに実施した各事業について、区がその事業経費の一部を負担し、地域コミュニティと連携したにぎわいや潤いのある商店街づくりを支援します。</p> <p>目標の設定</p> <p>目標設定は、各商店会が補助事業を効果的に活用することで、商店街のにぎわいや地域コミュニティの強化につながり、地域の活性化を促すとの理由により、区民ニーズを踏まえたもので適切です。</p> <p>代替手段・効率性</p> <p>この補助金は、事業を実施した商店会から高い評価を得ており、商店街のもつ地域コミュニティ機能の強化などを促進するために効果的に活用されていることから、費用対効果から見て、効果的・効率的に行われていると言えます。</p> <p>目標の達成状況</p> <p>この補助金で、商店会の地域コミュニティとの連携による取組みや来街者増加に向けたイベント事業等に区が支援した結果、商店街の持つ地域コミュニティ機能の向上などに効果があることから、にぎわいや魅力のある商店街づくりの支援に繋がるものと言えます。</p>				
今後の改革方針	にぎわいや潤いのある商店街づくり、地域コミュニティづくりを支援していくため、地域特性を活かした事業や消費者ニーズの変化を踏まえた取組みについて、平成19年度から実施している「商店会サポート事業」と連携させることにより、来街者の継続的な増加や商店街の売上向上につながるよう、より積極的に支援を行っていきます。				